

常滑市雨水出水浸水想定区域図【想定最大規模降雨】No. 1

対象区域	確率年	降雨強度
常滑市下水道計画区域 (令和5年4月1日時点)	1000年	1時間最大降雨強度：147mm/h

「想定最大規模降雨」とは、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が概ね1/1000（0.1%）以下の降雨です。

雨水出水浸水想定区域図とは、一時的に大量の降雨（想定最大規模降雨）が生じた場合、この降雨が下水道・河川に排水出来ないことによって発生が予想される浸水（「内水浸水」といいます。）について、その区域と水深を示したものです。

1. 概要説明
- (1) この図は、常滑市の下水道計画区域内（令和5年4月1日時点）において、水防法の規定に基づく想定最大規模降雨が発生した場合に、浸水が想定される範囲やその深さを示した図面です。

(2) この図は、令和5年度末時点の常滑市の下水道等の整備状況を勘案して、想定最大規模降雨（1時間雨量147mm、24時間総雨量590mm）により内水氾濫が発生した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより予測したものです。

(3) この図において、水防法第14条の2第2項の規定により定められた雨水出水浸水想定区域は、公共下水道等の排水区域のうち浸水が想定される区域（着色部）で示しています。

(4) シミュレーションの実施にあたっては、指定の前提となる降雨を超える規模の降雨、津波、高潮、河川の破堤や越水による氾濫を考慮していませんので、この図での想定を超える浸水が発生する可能性があります。
2. 基本事項等
- (1) 作成主体

常滑市

(2) 指定年月日

令和6年6月3日

(3) 指定の根拠法令

水防法（昭和24年法律第193号）第14条の2第2項

(4) 指定の前提となる降雨

想定最大規模降雨（1時間雨量147mm、24時間総雨量590mm）

(5) 対象となる範囲

下水道計画区域内（令和5年4月1日時点）

(6) 浸水想定手法

降雨損失・表面流出・管内 水理・氾濫解析を一連で実施

(7) その他の計算条件等

対象区域を約100m2のメッシュに分割し、メッシュごとの浸水深を計算しています。地盤高は、平成30年度のデータを使用しています。潮位波形のピークは計画高潮位（3.58m）とし、降雨波形のピークと重なるように設定しています。
3. 備考
- 長時間にわたり浸水するおそれのある場合（浸水深50cm以上がおおむね24時間以上継続する場合）に該当しないため、本図では浸水継続時間は表示しておりません。

凡 例

—— 下水道計画区域

最大浸水深

4. 0m以上の区域

3. 0～4. 0m未満の区域

1. 0～3. 0m未満の区域

0. 5～1. 0m未満の区域

0. 3～0. 5m未満の区域

0. 1～0. 3m未満の区域

0. 01～0. 1m未満の区域

